



ぼらんていあ通信

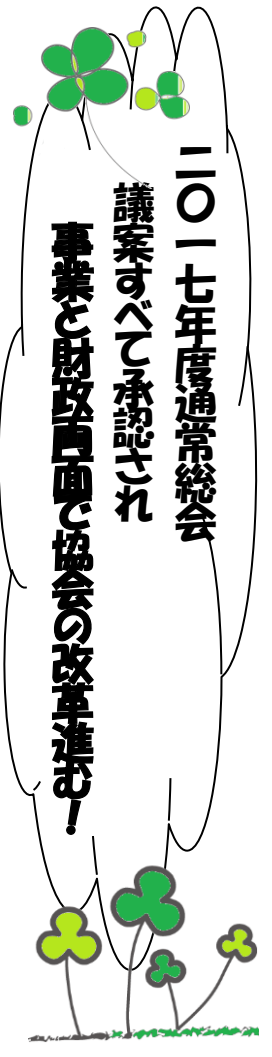
No. 426

2017年5月30日

発行 / NPO法人 相模原ボランティア協会

連絡所 〒252-0236 相模原市中央区富士見 6-1-20 あじさい会館・中央ボランティアセンター内

TEL/FAX: 042-759-7982 Eメール: sagamiva@feel.ocn.ne.jp http://sagamiva.wordpress.com/



二〇一七年度通常総会が五月二十一日(日)午後二時からあじさい会館六階展示室で開催された。

総会司会の小野明雄理事が進行役。古留勉副会長の開会のことばの後、西本敬会長は挨拶の冒頭で「長久間理事としての活動お疲れでした。河原良一さんが寒く季節に「逝去された。」「幸福を祈ります」と報告された。」「今日

の大切な審議を明日の協会活動に繋いでいくつもり」と述べられた。

次に事務局員の杉本まゆみさんが、「出席者、委任状などの合計は、正会員数の二分の一以上あり、本総会は成立する」と報告。

続いて、議長「見玉英明さん、書記「田中すすみさん、和田雅代さん、議事録署名人に篠島紀子さん、立石雅子さんが選出され議事に入った。

第一号議案の二〇一六年度事業報告と、第二号議案の二〇一六年度会計報告員および、監査報告は、説明終了後採決に入り、満場一致で原案通りの承認の運びとなった。

副会長の田田紘一さんから「二〇〇九年以降、市の助成金が無くなり、助成金半減という財政的危機を乗り越えることが大きな課題となった。そのため事務局員の役割の整理と再構築、またHCC号一台の売却とセタン型

運行へのシフトなどの改革に取組んだ結果、二〇一六年は赤字に持つことができた。また、住い探しサポーター、就労支援、傾聴活動などを進めた結果、会員数の減少傾向に歯止めがかかってきた」となどの報告があった。

第二号議案の役員選出については、役員選出管理委員会の加藤修委員長から理事名簿が提出され、異議なしという事で原案通り承認された

二〇一七年度役員の方々は、左記のとおり。

石関清美	新任	理事
小野明雄	再任	理事
杉本榮治	再任	理事
鈴木秀美	再任	理事
高橋功	新任	理事
田田紘一	再任	理事
吉留勉	再任	理事
田所雅	再任	理事無任所
勝部幸三	新任	監事
小川紀江	再任	監事



2017年度の役員の方々

第四号議案の定款の変更については、小野明雄理事から説明があり、原案通りの承認された。特定非営利活動促進法の改正に伴う第五十四条の変更で、詳細は『二〇一七



年度総会議案書」に掲載。

続いて第五号議案の二〇一七年度事業計画案と、第六号議案の二〇一七年度予算案も満場一致で承認された。

新年度の交流事業で日程が決まっているのは、ほかほかふれあいフェスタ二〇一七が十月十四日土、十一月九日土に障がい者週間キャンパーンで、その他の活動は前年度とほぼ同じ。

特に質問もなく、議事がすべて滞りなく承認されたので、議長・書記が解任され、議長の見玉さんが「ご協力に感謝します」と挨拶された。

今期で理事を離れる西本さんは「二十七年間代表を務めたことになりました。ボランティアとして主体性と先駆性を持って人の役にたつことを心がけて、小さなことでも大切なものを見つけて、そこにボランティア協会の存在意義があると思いたい」と話された。

閉会のことばで田田理事が「規約にはないが、西本さんには名誉会長として残ってもらいたい」と述べて、総会の幕は閉じた。当日は季節より早い夏目であったが、会場はほくほくクーラーが効いて快適だったせいもある(笑)予定の早めに終了した。(山崎)





2017年度ボランティア養成講座が始まります！

これからボランティア活動をしてみたいという方々のために、今年もボランティア養成講座が開催されます。お近くにお住まいの方や、お友達で、ボランティア活動をしてみたいという方々がいらっしゃいましたら、是非ご紹介ください。7月に3回開催される基礎講座を修了してから、コース別講座に進みます。



***基礎講座** 受講料 1,500円

第1日 7月8日(土) 13:30~16:30 あじさい会館6階 第1展示室	私とボランティア活動 パネルディスカッション / 車椅子体験と介助
第2日 7月15日(土) 13:30~16:30 相模原市民会館2階 第2大会議室	人と人のかかわり講演 / 視覚障がい者との接し方
第3日 7月22日(土) 13:30~16:30 相模原市民会館2階 第2大会議室	障がいって何? / 各コースの活動を知る

***コース別講座** (各コースは教材費が必要です) コース会場は、あじさい会館または市民会館会議室など
各コースは実際に活動しているボランティア団体やNPO法人が担当します。

コース名	概要 ()内は教材費	日程	定員	
視覚障がい者への援助	外出援助 (5回)	外出時の介助・誘導の実技、施設見学、障がい者スポーツの体験 (300円)	9/12 から毎週火曜日 PM1:30~4:00	10名
	音声訳 (9回)	活字情報を読む音声訳・録音の実際 (500円) *65歳位までで、メール程度のパソコン操作が出来る人	9/12 から毎週火曜日 AM10:00~正午	20名
	拡大写本 (10回)	弱視の児童等のための大きい文字の教科書づくり (1,000円)	9/7 からの木曜日 AM10:00~正午	10名
	点訳 (10回)	視覚障がい者のための点訳の基礎を学ぶ (1,000円)	9/7 からの木曜日 PM1:30 ~3:30	10名
福祉車両の運転・介助 (5回)	車いすのまま乗り降りできる車の運転と介助 (無料) 32歳から75歳くらいまで	7/29 ~8/26の土曜日 AM10:00~正午	10名	
高齢者支援 (5回)	介護の実際や傾聴についての理解と実習 (500円)	9/4 からの月曜日4回(不定)と、10月に実習あり	7名	

*詳細は相模原ボランティア協会のHPでご覧ください。



言葉の語源に挑戦!

クイズに挑戦

① ボランティアの語源は何?
ア勝利 イ慈悲 ウ平和 エ志願者

② トラフマとは元々どついう意味でしょうか?
ア虎と馬 イ傷 ウ癒やし エ病氣

③ 演歌は何の代りに歌ったことから生まれた言葉?
ア忘年会 イ演説 ウ町内会の会合 エ演劇

④ インターネット掲示板などでユーザーを表すために用いられるアバターとはどついう意味?
ア神の化身 イ天才 ウ幽霊 エヒーロー

⑤ ここのつまみの「こ」とは何でしょうか?
アサイ イおとせし ウ海豚 エボラ

*答えは次ページに!

6月の記念日は?

小倉義男

6月16日、和菓子の日です。

848年、仁明天皇は当時流行していた疫病退散を祈念するため元号を「嘉祥」と改元、6月16日に16個の菓子や餅を神前に供えて、疾病よけと健康招福を祈ったとされるそうです。これに由来して、毎年6月16日に「嘉祥菓子」の習俗が行われるようになりました。この故事にちなみ、和菓子を正しく後世に伝え残すために一層の努力を積み重ねることを目的として、1979年に全国和菓子協会が、和菓子の日と制定したそうです。



小倉画

ボランティア活動グループ訪問記

ガマシマ



「希望の翼をまての子供たちへ」
無料塾「ひばり学校」訪問

五月十三日(土)午後、向かったのは南区南公園地の集雲場。小田急相模原駅から国立病院行きのバス通り沿いで、鶴ヶ丘団地前バス停からすぐのところが会場でした。

部屋に入るまで「座っている子どもも講師の姿があり、今日の予定の時間割がホワイトボードに書いてある。一時限目が四時限目までの四十五分授業で、休憩は十五分。今日のメンバーは小・中学生の七人です。その一人ひとりの隣にボランティアの講師がついています。講師は大学生や年輩の教師経験者など、この活動に賛同して集まった方たちです。会場のお世話をするこの団地の自治会の方もいらっしゃいます。

一時限目が始まったところで、ひばり学校木谷公一郎塾長にお話を伺う。ひばり学校の構想は、昨年の夏から始めたそうです。鳥のひばりが「一気に空に昇る姿から、学力の急上昇を願って付けた名前だから、親が仕事で忙しい家で勉強を見てあげられない現状に加え、学校の授業についていけない子どもが多いのでは」「市内にはまだ無料塾は少ないのではなか



木谷塾長(右)と
大学生で講師の小田切さん

か。親が仕事で忙しい家で勉強を見てあげられない現状に加え、学校の授業についていけない子どもが多いのでは」「市内にはまだ無料塾は少ないのではなか



子どもたちも講師も真剣に授業中

などの思いで昨年十一月から始まりました。教える事により学ぶ楽しさを知ってもらいたいという強い思いからです。

ボランティア事業として続けられるか

どうかという不安もありますが、ゆくゆくはこれを拡大してNPO法人として続けていけたらと考えて行政などへの相談にも奮闘中です。

現在は相模大野ポニー二階にある南区地域福祉交流フロンティア、この南台団地集雲場の二か所で土・日曜日の月二回ずつ開いています。入塾は親子で面談の上決定。もちろん本人の学習意欲がいちばん大切です。

休憩中の六年生の女の子とお話できました。「回覧板をお母さんが見て知りました。十一月から始めて今はとても楽しい。英語で自分の名前が書けるようになったし、今まではテレビばかり見ていたので友達とも話をするようになって良かった。両方の会場に行っています」

最後に木谷塾長に想いをまとめて戴いた。「せっかく立ち上げた仕組みだからこれを定着させて時代のニーズに答えられたらいいと思う。地域のみならずの応援をお願いします」

現在ひばり学校では講師の賛助会費も募っています

す。学校の補習がメインなので教職の経験がない方でも協力いただけます。教えたいという意欲のある方は是非、このお話でいいです。
(山崎・植野)



*ひばり学校 塾長 木谷公一郎

〒151-0134

南区若松六-11-15 エクシビ若松 101

電話 042-701-9533

知

わいわい1017号では、座談会に塾長の木谷さんが登場します。お楽しみに！

クイズの森



①は、⑤の志願者。

語の原義は志願兵で、語源はラテン語の志願者。

②は、①の場。

ギリシャ語で「場」を意味するところ。

③は、①の演説。

明治初期の自由民権運動の盛んな時期、演説の取り締まりが厳しくなり、代わりの歌の形で街頭演説をしたところから生まれた言葉。

④は、②の神の化身。

インド神話の神や仏の化身のこと。インターネット上では、自分の分身となるキャラクターのこと。

⑤は、⑤のボム。

ボムは田中魚べ、その名前を殺すことが最終的に「アト」になった。

理事のついで

「大婦共倒れになると大変」

理事 吉留 勉

最近義妹夫婦が共倒れになった。鹿児島に住む義妹は六〇歳台半ば、その夫は七〇歳台後半だが、夫の方は心臓にペースメーカーが入っていて、大腸がんでス टीमをつけていて、更に食道がんも患っていて入院を繰り返している。義妹は乳がんを治療中だったが、最近脳梗塞で緊急入院し、やっと退院したと思ったら腎盂炎でまた入院し、退院しないまま膝に水が貯まり脳梗塞の後遺症もあって両足が使えなくなり、現在退院の目的がたたなくなっている。加えて今度は夫の方も肺に水が溜まり胸が苦しくて緊急入院となってしまう。子供がいない夫婦で思ってもいなかった二人同時入院となり大変な事態となった。なにせ義妹の方はパジャマのまま近くの病院に運ばれていって、更に現在の病院に転院していったので着替えも下着など入院の準備もないまま家に帰れなくなった。子供がいないため仕方なく近くに住む義弟(六〇歳台半ばの一人暮らし)に応援を求め、義弟は入院の手続き・準備・医者から説明を受けたり・入院中に必要なものを届けたりして、二人の病院を毎日回るなど、とんでもないことになった。夫の方はいくつもの病気持ちに加えて肺の水で痛みがひどく、心不全を起こす恐れがあるのでその場合は延命治療をするかどうか決めてくれと医者から告げられたが、義弟は家族でもないの返事は出来ず、本人の妻は入院中で動きが取れず困った事態になった。本人は事態の深刻さは感じておらず他人事のようにである。それで義弟一人だけでは対処に困って、又女性でなければならぬことも少なくとも、先日自分の家内が鹿児島に帰って応援する事態となった。

ボランティア協会 6月のよてい

日	時間	内容
1(木)	13時半	理事会
4(日)	10時~	事務局文書整理
5(月)	10時~	文書整理
7(水)	13時半	定例理事会
8(木)	19時~	ほかふれ幹事会
10(土)	10時~	HC委員会
11(日)		黄色いレシートキャンペーン
17(土)	13時~	事務局委員会
24(土)		講座検討委員会
26(月)	13時	ほら通印刷
27(火)	13時	ほら通発送

結局二カ月ほど入院した後、夫の方だけ退院にこぎつけたが、体のいくつもの臓器が痛んでいるため透析生活となった。義妹は車いすでないとなれば退院の目的はたっていないが、義弟は今まで食事なんか作ったことが無く、現在は透析生活でいろいろ食事制限もあるのだが、外を食へ歩いていく状況である。我々のような高齢になると夫婦共倒れは誰でもいつても突然起きることである。一人暮らしで倒れても同じことが言える。そう言った場合はかねてからどうするか考えておくべきだろうということのだがこれがまたおぼつかしい。なにせ一緒に住んでいないと何か持ってきてもらいたいと頼まれても他人の家はどこに何があるか子供でもさっぱり分からない。貴重品の扱いも困るし、冷蔵庫の中のものも誰かに処分を頼まなければならないし、色々な支払いもどうしようもない。どんな準備をしておいて、どう考えておけばよいかおぼつかしい。

理事会報告

五月二十一日(日) 十五時半から(総会後)

(理事六名、監事一名、)

次年度新任理事二名、出席)

- ◆総会後の事務処理、手続きについて
- ◆代表者変更があることを含め、総会後の法人としての事務処理、手続きについて庶務が担当する事項について確認した。
- ◆正副会長の選任について
- ◆六月一日開催する理事会において、互選により選出することとした。正副会長の就任については、各氏より内諾を得ている。
- ◆定例の理事会について
- ◆毎月第一水曜日午後一時半から開催する。(但し、一月は第二水曜日)
- ◆委員会のあり方について
- ◆各委員会の目的、委員会の構成などについて、今後の理事会で検討することとした。
- ◆外部会議等の担当について
- ◆各外部会議、委員会等の担当者、任期について確認した。
- ◆相模原市社会福祉功労者表彰(市)及び社会福祉活動推進功労者表彰(市)協会の内申について
- ◆活動年数を考慮し内申書を提出する。

(二〇一六年度の正副会長に一人)

- ◆事務局文書整理及び倉庫に保管されている備品の整理については六月四、五日に整理する。
- ◆あじさい地下倉庫の備品類は現状を把握し、処分を含め、対応を検討することとした。
- ◆新ホームページに法的に開示する事項を含めPDF形式で至急まとめる。

次回の理事会 六月一日(木)

次回定例理事会 六月七日(水) 十三時半

イベント情報

さがみはら発達障がいサポーターズ
第九回講演会
子どもたちの成長を信じて

日時 七月一日(土)午後一時～四時

場所

相模原市民会館二階 講堂室
(中央区中央三十三二十五)

内容

テーマ

発達障がい・・・不登校・・・
教師として親として思うこと

講師

不登校体験を持つ高校教師
内之倉 佑至 氏

親としての子育て体験談

山本 和子 氏

定員 四十五名(申込順)

費用 五百円

申込

FAX・Eメールで

問合せ

さがみはら発達障がいサポーターズ
電話：090・9396・7295
FAX：042・707・8557
メール：
sappoto71.sagami@gmail.com

相模原市内6月のイベント情報
(市商業観光課HPより抜粋)

○城北里山まつり

開催日時 六月十七日(土)

午後一時から九時まで※荒天中止

開催場所 緑区川尻 城北六川地区

毎年六月、アジサイの開花とホタルの時期にあわせて開催されます。

当日は、地元特産物・地場野菜・軽食などの販売、自然教室や虫の観察云々が開催されます。

県の里山保全モデル地区第一号認定にふさわしい田園風景の中に、鮮やかなアジサイの花が広がります。

夕暮れからは、幻想的な蛍の光が初夏の夜を彩ります。

お問い合わせ 城山観光協会

電話 042・783・8005

○上河原ほたてまつり

開催日時

六月二十二日(金)二十四日(土)

午後七時から十時頃まで

開催場所 上河原「ほたての里」

※駐車場は藤野北小学校
(緑区佐野川一九〇一)

六月下旬に沢井川流域の上河原で開かれるホタルの鑑賞会です。実際にホタルが舞う様子を体験してもらうことを目的としています。地域の活動団体である「だすきの会」がホタルの保存「尽力」や「地元の魅力を伝える模範店」が中心。

お問い合わせ だすきの会

電話 042・607・2206

相模原市で活躍する会社紹介
株式会社 ケイ・アース



おかの ともひろ
代表取締役 岡野 智博さん(38歳)
(公社)相模原青年会議所 常任理事
本社：〒252-0235
住所：中央相生4-9-20 1階
電話 042-707-9007
FAX 042-707-9008
矢部オフィス：〒252-0232
住所：中央区矢部4-21-3角田ビル1階
電話 042-707-9307
URL: http://www.kearth.co.jp/
☎ 0120-033-134

弊社は太陽光発電システムの設置・施工・メンテナンスを主にやっております。最近では、お客様から太陽光発電を設置するにあたり同時に建物の改修をしたい。という要望を大変多くいただき、対応して参りました。その経験を生かし、現在ではリフォーム事業に力を入れております。

①バリアフリー・介護リフォーム
福祉施設・介護施設・障がい者施設・グループホーム等、皆様が快適で安全にお過ごしいただける設計プランをご提案いたします。介護されるかたの身体に合わせた寸法位置で設備や、運動機能への配慮、住宅内で車いすや杖、歩行器、リフトなどを使用する場合の同時に使う福祉用具との兼ね合いなど、細部にまでこだわります。先を見据えた質の高いプランをご提案します。

②個人住宅の外壁塗装・内装工事
リフォームは、「モノの交換」ではなく「暮らしの提案」です。お客様のライフスタイルにあった暮らし方、住まいを提案することを大切にしています。

③ビル・マンション外壁塗装・防水工事
緻密な設計と丁寧な施工でお客様に高い評価を頂き、近代的なビルから、病院まで様々な建築物を手掛けています。

④太陽光発電システム設置、保守、点検全般
太陽光発電なら、雨漏りしない・低価格・高発電量のケイ・アースにお任せください。屋根に穴を開けない工法ですので雨漏りの心配がなく、通常の工法より多くの太陽光パネルを乗せる事ができるため発電量が多いのが特徴です。売電収入が可能です！

個人住宅の外構・内装工事の施工から、ビル・マンションの外壁塗装、防水工事、バリアフリー・介護リフォーム様々な要望にお応えできるように、施工技術面からのアドバイス・提案などのプランニングを行い、住宅改修項目すべての施工完了までトータル的に対応いたしますのでお気軽にお問合せください。

活動いろいろ

10号車・11号車の整備「点検・清掃・修理」

ハンディキャブをのり

ハンディキャブ・ボランティア号（10号車、11号車）の整備作業について紹介します。

作業項目として、下表に示す4つの項目（運行時点検・法定点検・清掃・修理）を、運行ボランティアと整備担当者が行っています。

整備担当者として、10号車は東原誠逸さんと井上正昭さんが、11号車は小川進さんが担当しています。多くの運行ボランティア・事務局の皆さんのご協力をいただき作業しています。



“七つ道具”を駆使してバンパー修理する東原さん



《各作業の内容》

項目	実施時期	内容
運行時点検	運行時	運行ボランティアが、点検表に従って点検・給油・給圧・清掃
法定点検		整備担当者が、事務局と実施日程を調整して、専門業者に作業を依頼
車検	2年毎 2月	※1 10号車は8ナンバーの車いす移動車の為「半年点検」を義務付けられている （福祉有償運送ガイドブック」国土交通省発行に準拠）
1年点検	毎年 2月	
半年点検	毎年 8月 （10号車のみ ※1）	
月次清掃	毎月1回	整備担当者が、ガソリンスタンドの洗車設備などを用いて実施
修理	発生時	整備担当者が、運行ボランティアの連絡を受けて調査を行い、専門業者による修理または自前修理（※2）を実施

※2 自前修理の例

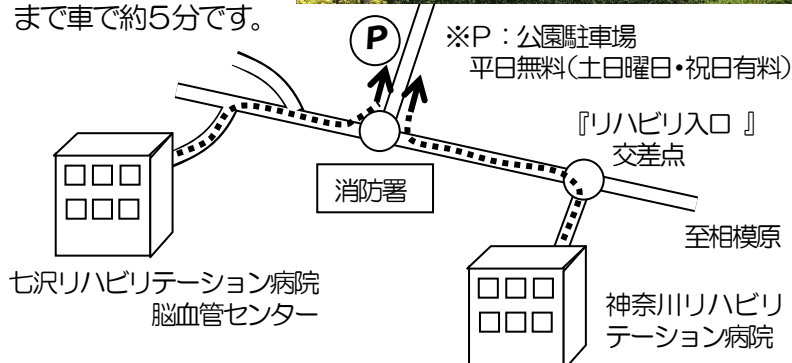
タッチアップペイント、バンパー修理、ワイパーゴム（またはブレード）交換、ウォッシャー液補給、ランプ交換、摺動部グリースアップ、バッテリー充電・交換、車輪ローテーション、車いす牽引フック用カバー交換、など

待機場所情報

神奈川県立七沢森林公園

七沢リハビリや七沢リハビリ脳血管センターへの運行の場合、待機時間が90分以上で良いお天気であればここがお勧めです。リラックスできます。

いずれも公園駐車場まで車で約5分です。



お知らせ

セダン運行の「対価」据え置き

セダン運行（運転者の自家用車を使用して行う運行）の運転者に支払う全運行距離（※）kmあたりの対価を、今年度上半期も引き続き下表に示す金額で運用します。



	車両の種類	対価
1	軽自動車、ハイブリッド車	20円/km
2	5ナンバー車（1項の車両除く）	30円/km
3	3ナンバー車（1項の車両除く）	40円/km

※走行距離は自己申告。但し、対象外の走行距離に注意。

地区社会福祉協議会 活動紹介 VOL6

“地域にある福祉課題を発見し、みんなで共有し、解決していく”
「福祉コミュニティ形成事業」等の各地区の取り組み

横山地区の交流と相談の場 コミュニティよこやま「憩(いこい)」

横山地区社会福祉協議会 高橋年廣 会長



“住民同士の交流と気軽な相談の拠点” コミュニティよこやま「憩」は、毎週月曜日と金曜日の午前 10 時から午後 3 時まで開所しています。

地域のボランティアグループの協力のもと、開所時には窓口ボランティアが常駐しています。お茶をのみながらおしゃべりをし

たり、散歩の途中や買い物のついでに気軽に立ち寄れる横山地区の住民のための立ち寄り処です。ボランティアによるストレッチ体操、手芸、囲碁・将棋、高齢者支援センター協力の“よこやま体操”など様々な企画を行っています。

これからも「憩」を訪れた方々と普段からあいさつや声掛けが広がるような地域の絆づくりの拠点を目指しています。

連絡先：市社協 横山地区担当 絹山岬 TEL042-704-6275

★平成 29 年 4 月 1 日現在
人口 14,798 人
高齢化率（65 歳以上） 23.2%
年少人口率（14 歳以下） 15.8%



三世代 心でつながる街 中央地区

中央地区社会福祉協議会 徳田文夫会長

キーワードは三世代交流。

中央地区では、地域の人との出会いの場をたくさん作り、隣

近所の「つながり」を強めようと、趣向を凝らした活動を 5 か所で開催しています。毎月開催している「ふれあいふじみ」「ふれあいむらとみ」「ふれあい相生」。年数回開催している「ふれあい中央」「ふれあいMYT（マイト：松が丘・弥栄・高根）。それぞれ活発です。

さらに平成 29 年度からは「ふれあいむらとみ」の午前の部を「子サロの時間」として、乳幼児連れの親子を中心に、三世代で楽しめる活動を始めました。あいさつ程度のご近所さんが仲良くなったりと、みんなが笑顔になれるつながりが育まれています。

「三世代 心でつながる街中央地区」をテーマに、今後もまちづくりを進めていきます。

連絡先：市社協 中央地区担当 柴田真弓 TEL042-704-6275

★平成 29 年 4 月 1 日現在
人口 35,454 人
高齢化率（65 歳以上） 23.1%
年少人口率（14 歳以下） 11.3%



ボランティアさん募集！

高齢者施設でのレクリエーション活動のお手伝い

- 内容 デイサービスセンターでのレク活動で、手芸工作をする際のサポート
汚れてもよい服装でご参加ください。
- 日時 6月12日(月)、13日(火)、14日(水)
午後1時30分～3時で、都合の良い日
- 場所 チャオデイサービスセンター（中央区相模原 4-7-14）



連絡・問い合わせ先

- 相模原ボランティア協会 あじさい連絡所 : 電話 042 (759) 7982
- 相模原市社協 中央ボランティアセンター : 電話 042 (786) 6181

《今月のイラスト》

…ハイハイも上手になりました》



あう、ほんやう？

海底でワインを熟成



二〇一〇年、バルト海に沈んだ難破船からシャンパン百六十八本が見つかった。知らせを受けたフランスのあるシャンパンメーカーの最高醸造責任者が、その百七十年前のシャンパンを試飲し、フレッシュで甘みがあると表現した。冷暗な海中は「完璧に近い」保存環境と言った研究者もいるそうだ。

*ナシヨッコオ五五五ヨコ

*百七十年前のシャンパンって、どんな味？
一口でいっから試飲してみたいですね！

Twitter

ほらんていあ通信版 ツイッターコーナー

たぐちみかほ
田口操

点訳奉仕団五十周年記念講座での萩生田講師から「老齢のせいじゃない」「自分を愛する」「じいのお話が印象に残りました。確かに「老齢のせい」の年齢は人、各々異なります。

近所のおばあちゃんで九十三歳の方は、未だに脚立に上り庭木の手入れをしています。そしてその元気な姿に「私も同じ位まで元気にいたい」と、自然に誰もが笑顔になり、その輪が広がっています。



編集後記

先週、チェコ出身のピアニストと、エクアドル出身のギタリスト夫婦によるミニコンサートに行ってきた。ヨーロッパと南米という、それぞれ違う大陸で育った夫婦が奏でる音色は、また一味違う面白い響きに感じられた。ほらんていあ通信も、たくさんの方々に参加いただき、面白い紙面作りを目指して！ (恒)